



山梨県立

甲府昭和高等学校



所在地 〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条3000番地

電話 055-275-6177～9

FAX 055-275-2594

URL <http://www.syowah.kai.ed.jp/>

E-mail webmaster@syowah.kai.ed.jp

創立 昭和59年4月3日

課程 全日制

利用交通機関 山梨交通バス NTT 新甲府ビル下車 徒歩10分

山梨交通ハイスクールライナーバス

アルプス通り甲府昭和高校入口下車 徒歩10分

JR 身延線 国母駅下車 徒歩20分 自転車7分

教員数 45名

生徒数 690名



学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	101	128	96	134	99	132

甲府昭和高校は、生徒の挑戦を応援し
未来に生きる資質と能力を育成します。

校訓 自主創造

（「自主性」とは、自分で考え、自分で判断し、自分の意志と努力で自分の行動に責任をもって生きていくこと。「創造性」とは、新しいものを創りだしていく精神、自己の良いところを発見し、理解を深め、自己実現に努めて自らを創造すること。）

教育目標

真理を愛し、たくましく、心豊かな人間に育成する。

指導重点

「自主創造」の校訓のもと、学校の教育力および組織力の一層の向上を図りながら、生徒の挑戦を応援し、未来に生きる必要な資質・能力の育成、および人のために力を尽くせる知・徳・体の調和のとれた人間を育成することを目標に、次のことに力を入れて取り組みます。

① 身に付けさせたい資質・能力の育成

生徒の学びに向かう力を引き出し、甲府昭和高校Can-doリストに掲げた資質・能力の育成を図ります。

② さわやか教育

さわやか教育を実践し、自ら考え、自主的・積極的に行動できる生徒の育成を図ります。

③ 安全で安心な教育環境

地域や関係機関と連携して、安全で安心して学べる教育環境の構築に取り組みます。

学習の流れ

1年次は、基礎学力の充実をめざした学習を進めます。文系、理系のどちらにも対応できる高習熟度クラスとして「文理習熟クラス」を2クラス設置しています。

2年次は、個々の適性や関心に応じて、文系、理系それぞれのコースに分かれて学習を深めます。

3年次は、生徒一人ひとりが個々の進路希望に応じた学習を深め、自己実現を図ります。

2・3年次の文系では「文系習熟クラス」を、理系では「スーパー理数クラス」を、それぞれ高習熟度クラスとして1クラスずつ設置し、発展的な学習を行っていきます。

	共通科目	選択科目
文系 理系	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究・歴史総合・地理総合・公共・数学ⅠⅡ・数学A・科学と人間生活・化学基礎・化学・生物基礎・体育・保健・英語コミュニケーションⅠⅡⅢ・論理表現ⅠⅡⅢ・家庭基礎・情報Ⅰ	国語表現・国語探究・日本史探究・世界史探究・地理探究・世界史研究・日本史研究・倫理・政治経済・数学B・数学Ⅲ・数学探究・物理基礎・物理・生物基礎・生物・自然科学探究AB・スポーツ研究・音楽ⅠⅡ・美術ⅠⅡ・書道ⅠⅡ・芸術探究・英語探究・ソルフェージュ・素描・フードデザイン・ライフデザイン・保育基礎
スーパー理数 2年次以降	論理国語・古典探究・地理総合・数学Ⅱ・数学B・化学基礎・化学・体育・保健・英語コミュニケーションⅡⅢ・論理表現ⅡⅢ	地理探究・政治経済・数学Ⅲ・数学C・数学探究・物理基礎・物理・生物基礎・生物

※令和7年度入学生のカリキュラム（予定）

一人ひとりの可能性を伸ばす学習機会

1、2年生を対象に、年12回の「土曜講座」を実施し、進路実現に必要な学力を養成します。

夏休みには夏期学習会（1・2年）を実施し、休業中の学習習慣の定着を図るとともに、学習支援を行います。3年生に対しては夏期課外を実施し、大学受験に向けた実践的な学力を養成します。

総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試などに対応するため、小論文指導・面接指導を、個別に、計画的に、きめ細かく行います。

将来を見通す総合的な探究の時間

外部講師の講話による、自己理解や社会との関わりを深める活動、熟議による進路をテーマにした探究活動を通して、自己の在り方や生き方を考えることができるようになることを目指します。SDGsを切り口に社会的課題や学術的課題、興味のあることを探究して、新たな時代を担う生徒を育成する時間として、探究活動を実践し、体系的なキャリア教育を行います。

自主的な学習を応援する環境

生徒への学習支援を進めるため、学習支援システム「Classi」を活用しています。

進路実現に向けて、日々の学習計画や取り組み状況の振り返りや、1人1台PCを利用した個別最適化学習を推進し、多様化している大学入試に対応できる環境の整備を行っています。

また、職員室前には、「質問コーナー」が整備され、昼休みや放課後には、多くの生徒が熱心に教師に質問をしています。

活発な部活動

各部とも高い目標をもって積極的に活動をしています。体育局では、多くの選手が県代表として関東大会や全国大会に出場しています。また文化局も、各種大会・コンクールで上位入賞を果たしています。

学習との両立を図るため、「部活動の活動方針」を策定し、各部において計画的な活動を行っています。

体育局

野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、陸上競技部、ソフトテニス部（男女）、テニス部（男女）、バレーボール部（男女）、卓球部、ボクシング部、弓道部、水泳部、山岳部、ソフトボール部、なぎなた部、バドミントン部

文化局

吹奏楽部、写真部、箏曲部、美術部、放送部、演劇部、書道部、茶道部、華道部、家庭料理部、ESS、ダンス部

※体育局、文化局とも令和6年度に部員を募集した部活動を掲載しています。今後、変更となる場合があります。

部活動の実績（令和5年度）

- 全国大会出場
全国高校総体（インターハイ）
なぎなた部、水泳部、ボクシング部
全国総合文化祭 文学部
NHK全国放送コンテスト 放送部
- 関東大会出場
陸上競技部、なぎなた部、水泳部、
バドミントン部、山岳部、ボクシング部
放送部、写真部



<令和5年度卒業生の大学等進学状況>

○国公立大学（進学70名）

山梨大学(20)・群馬大学・宇都宮大学・信州大学(7)・静岡大学・山形大学・山梨県立大学(18)・都留文科大学(9)・諏訪東京理科大学(6)・小松大学・静岡県立大学(2)・前橋工科大学・千葉保健医療大学・青森県立保健大学・新潟県立大学

○私立大学（進学107名）

亜細亜大・桜美林大・大阪産業大・大妻女子大・学習院大・神奈川大・神奈川工科大・金沢学院大・鎌倉女子大・関東学院大・北里大・杏林大・共立女子大・健康科学大・工学院大・国際武道大・駒澤大・埼玉医大・佐久大・静岡福祉大・実践女子大・芝浦工大・湘南工科大・女子栄養大・城西大・城西国際大・白百合女子大・成蹊大・成城大・西武文理大・摂南大・専修大・大東文化大・拓殖大・玉川大・多摩美大・千葉工大・中央大・つくば国際大・鶴見大・帝京大・帝京科学大・東海大・東京有明医療大・東京医療保健大・東京経大・東京工科大・東京工芸大・東京電機大・東京農大・東京平成大・東京薬大・東京理大・東洋大・常葉大・獨協大・豊橋創造大・南山大・日本大・日本医療科学大・浜松学院大・文教大・文京学院大・法政大・武蔵大・武蔵野大・明治大・明治学院大・明星大・目白大・山梨英和大・山梨学院大・立教大・立正大・龍谷大

○短期大学・専門学校（進学37名）

【短期大学】国公立短大3名

私立短大11名

【専門学校】23名（内 看護系18名）

